

## 陽明学便り

### ◇黄宗羲民本思想国際学術研討会

期日 二〇〇六年四月一日―三日

主催 浙江省社会科学学院

余姚市人民政府

主題 黄宗羲の思想及び民本思想に関するもの

中国を中心に台湾・香港・アメリカ・ロシア・日本・韓国など内外の学者百余名が参加した。発表論文は全六十六篇。

### ◇泰州学派哲学・美学思想及び其の現代的意義学術討論会

期日 二〇〇六年一〇月二〇日―二二日

主催 泰州市委宣传部・泰州市社連

揚州大学

主題 泰州学派と和諧社会、泰州学派の哲学・美学思想及び現代的意義

参加者は、北京、上海、杭州、南京、厦門、泰州、揚州の専門家四〇余名。

### ◇韓国陽明学会

期日 二〇〇六年六月二日

場所 慶熙大学校

主題 陽明後学―王畿哲学思想

(発表者と題目)

崔在穆 「鄭寅普の王龍溪理解」

鄭址郁 「良知、自己展開のメカニズム」

林月恵 「王龍溪現在良知釈義」

金演宰 「王畿の心本論とその易理的理解」

李慶龍 「王龍溪命学」

### ◇第三回韓国陽明学会国際学術大会

期日 二〇〇六年十一月三―四日

場所 安養大学校

\*詳細は学会報告欄参照。

○韓国陽明学会は学会誌として『陽明学』を一九九七年に創刊(年一回刊)し、

二〇〇一年より、年二回刊行している。

現在(二〇〇六年)まで十六巻刊行。

### ◇『李贄全集注』出版について

首都師範大学の「李贄研究中心」(主任は張建業教授)は、二〇〇〇年五月、社会科学文献出版社から、『李贄文集』全七巻を刊行した。この中心(センター)は、一九九

六年に「李贄全集注」小組を組織し、この文集の注釈を開始し、一二〇〇万字に上る

ものを二四巻(一卷五〇万字)として刊行予定。すでに原稿は完成し、出版にとりかかっている由。

\*経費の賛助お願いについて別項参照。

### ◇陽明学関係書出版について

○吉田和男著「現代に甦る陽明学」

『伝習録』(巻の上)を読む―桜下塾講義録

○林田明大著「財務の教科書」

―「財政の巨人」山田方谷の言動力―

○小島毅著「近代日本の陽明学」

この三書については、「陽明学関係書紹介と短評」の欄を参照してください。

### ◇王陽明の小説について

○芝豪著「小説 王陽明」(上下巻) 平成

一八年七月、明德出版社 刊。

中国における王陽明の小説に、袁仁宗著

『小説 王陽明』(一九九八年七月、貴州民族出版社刊)がある。

\*最近、精神的荒廃を憂える現象によるの

か、心を論じた陽明学に関する通俗書の出版は多い。

(正田啓佑)